

# 米子水鳥公園

## レンジャー通信

水鳥公園の指導員(レンジャー)によるさまざまな活動をご紹介します。

☎米子水鳥公園 (☎24-6139)



### 今年の総選挙は「昆虫」!

近年、2月は自然観察会の代わりに水鳥公園で見られる鳥の総選挙を開催して、来館された皆さんに好評です。お客様の投票によって選ばれた上位12種類は、10月に販売される翌年のカレンダーに掲載しています。

今年で4回目となる総選挙は、園内に生息する昆虫を取り上げることにしました。米子水鳥公園は野鳥を観察する施設ですが、鳥だけではなく、さまざまな生き物が住んでいて、特に昆虫類は、多種多様な種類が見られます。その中から、かっこいい虫、美しい虫、特殊能力を持つ虫など、特に個性が強い20種類を厳選して、子どもたちに人気のトレーディングカードのような形式の選挙ポスターで、その虫のイチオシポイントをアピールします。期間中にご来館の皆さんは、最も気に入った昆虫3種に投票していただけます。今回もこれまでと同様、皆さんに選ばれた上位12種類の昆虫カレンダーを製作し、10月から販売予定です。

い20種類を厳選して、子どもたちに人気のトレーディングカードのような形式の選挙ポスターで、その虫のイチオシポイントをアピールします。期間中にご来館の皆さんは、最も気に入った昆虫3種に投票していただけます。今回もこれまでと同様、皆さんに選ばれた上位12種類の昆虫カレンダーを製作し、10月から販売予定です。



子どもに大人気のカブトムシ



玉虫色に輝く羽が美しい  
チョウトンボ

今回総選挙に出場する20種類は、有名な虫からマニアックな虫までさまざまです。これまで気づかなかった昆虫の面白さに気づいてもらい、虫が苦手な方にもお楽しみいただけたら幸いです。

米子水鳥公園統括指導員 桐原 佳介

## 美術館通信

若手作家支援展

### 「朝倉弘平 雲わく庭から」

会期 2月11日(金・祝)～3月6日(日)【水曜日休館(祝日除く)】

郷土ゆかりの新進気鋭の作家を発掘し、ミッドキャリアへつなげる支援として2009年から開催している「若手作家支援展」。

その第6回目としてとりあげるのは、画家・朝倉弘平(1983年生まれ)です。仙台に生まれ、幼い頃から生き物や植物の持つ色に魅せられた朝倉は、宮城野高校美術科油彩専攻を経て文化服装学院へ進学。卒業後はテキスタイルデザインと並行して絵画制作に打ち込みました。2013年家族とともに米子へ移住、2016年に大山町へ移り「自然との交感」をテーマに作品制作を続けています。公立美術館における朝倉

の初個展となる本展では、最新作を含む約100点の作品を展示します。まばゆいほどの色彩、配色の妙をぜひこの機会にご覧ください。

☎米子市美術館 (☎34-2424、FAX 33-0679)



《雪どけの晴れた朝》2017年 アクリル、板/個人蔵